

令和2年度
総合問題
(第一部 商経学科)

13:00～14:30

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、問題冊子、解答用紙に手を触れてはいけません。
- 2 この問題冊子は8ページで、解答用紙は2枚あります。
- 3 試験開始の合図があったら、まずページ数、枚数を確認し（足りない場合は、手を挙げて監督者に知らせること）、全部の解答用紙に受験番号を記入してください。
- 4 試験中に、印刷の不鮮明な箇所やページの脱落などに気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 5 解答は、解答用紙の所定の欄に記入してください。
- 6 試験終了後、問題冊子と受験票は持ち帰ってください。

課 題 資料 1, 2 を読んで, 後の問いに答えなさい。

資料 1

【省略】

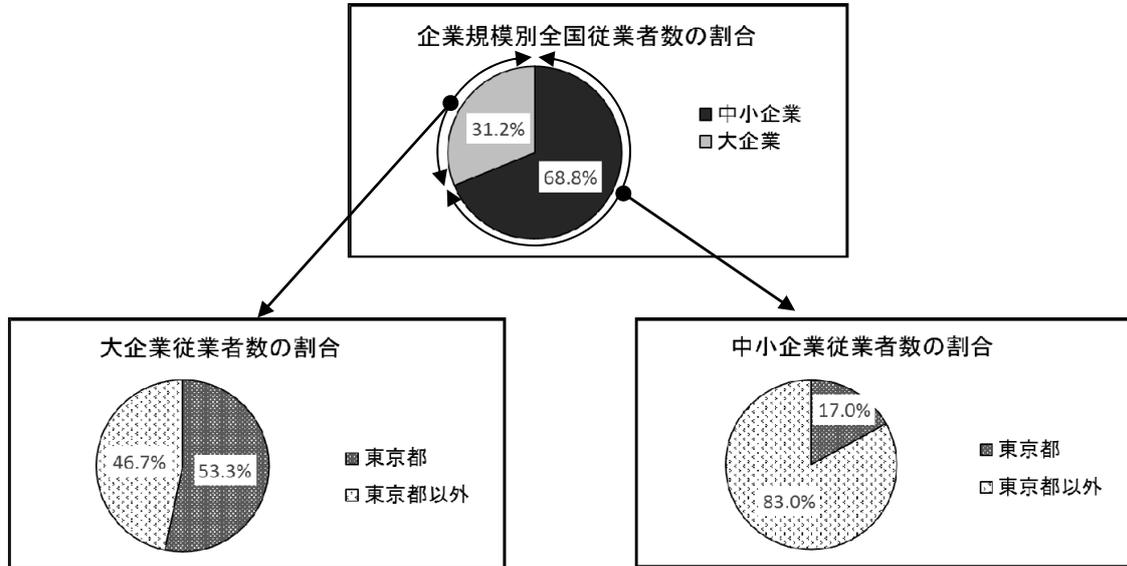
【省略】

(近藤清人『強い地元企業をつくる 事業承継で生まれ変わった10の実践』2018年、
学芸出版社、pp. 31-33より作成)

注1 相手先のブランドで生産すること

注2 注文者の依頼に基づき、労務を提供する請け負いのこと

資料 2



(中小企業庁編『中小企業白書 2019年版 令和時代の中小企業の活躍に向けて』2019年, pp. 509-511 より作成)

問 1 資料 1 の著者は、地方の中小企業の「ものが売れない」理由をどのようなものだと考えているか、200 字以内でまとめなさい。

問 2 資料 1 の著者は、地方の中小企業が売上げを上げていくにはどのようなことが必要だと述べているか、150 字以内でまとめなさい。

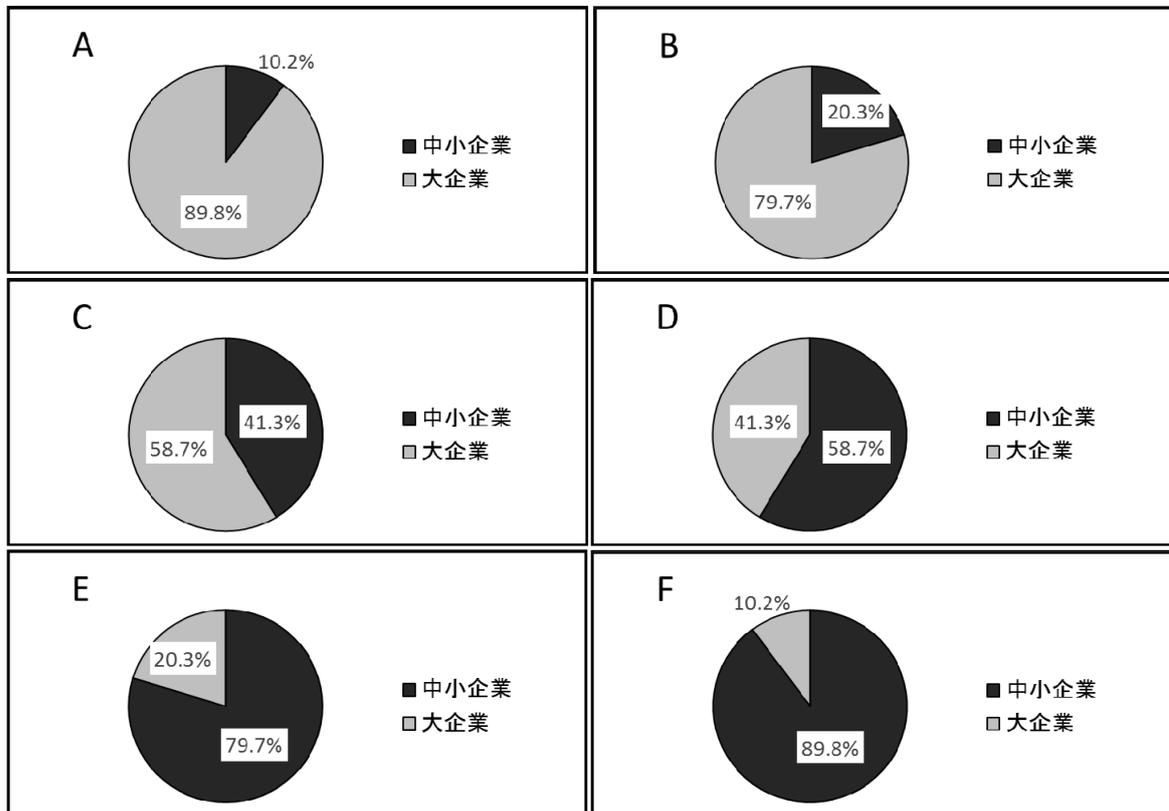
問 3 次の英文の **ア**～**オ**に入る単語を以下の語群から選び、「当時のあなたの会社の社会的価値はどこにありましたか。」という文章を英訳しなさい。

What was the (ア)(イ) of your (ウ)(エ)(オ) time?

(語群)

at community company primary purpose social that value

問4 資料2は日本における2016年の会社と個人事業者の従業者数割合（企業規模別割合、大企業における東京都と東京都以外の割合、中小企業における東京都と東京都以外の割合）を示した円グラフである。これを基に、「東京都における企業規模別従業者数の割合」を表したグラフを下のA～Fから選んで記号で答えなさい。



問5 資料1と資料2を踏まえて、地方の企業が発展するためには具体的にどのような取り組みが必要だと思うか、あなたの考えを述べなさい。

